第32回山形市長杯シニアオープンバドミントン選手権大会

兼　第42回全日本シニアバドミントン選手権大会イン山形2025記念プレ大会

競技・審判上の注意等について

【１】 競技・審判上の注意

１　本大会は、令和６年度（公財）日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程、同公認審判員規程及び本大会実施要項により行います。

２　棄権をする場合は、競技開始前までに、当該プレーヤーまたは代理の者が、大会本部へ報告してください。試合開始以降は、当該プレーヤーがレフェリーにその旨を申し出てください。

３　競技の品位を保つため、色付き着衣を使用する場合は、（公財）日本バドミントン協会の審査合格品とし、上衣の背面には都道府県名を明記してください。着衣上の背面、広告、ロゴなどの表示については、大会運営規程第２４条を遵守してください。また、ゼッケンを使用する場合には、必ず四隅を固定してください。

４　試合の進行は、試合番号順に空いたコートから入れていきます。本部より試合のコール後、１０分経過しても当該プレーヤーがコートに入らない場合は、レフェリーの判断により「棄権」とすることがあります。

５　試合が連続することになった場合は、原則として試合終了後、１０分の間隔を置き、次の試合を始めます。

６　マッチ前のウォーミングアップ（練習時間）は、主審の開始指示に従い、「ラブオールプレー」のコールまでの２分間とします。

７　審判構成は、主審、線審２名、得点表示係１名（線審と兼ねる場合がある。）とし、サービスジャッジは配置しません。

８　本大会は、参加者全員による相互審判制とします。プレーした次の試合の審判をお願いします。敗者は、主審、得点版、勝者がラインジャッジを担当してください。

９　シャトルは、検定合格水鳥球とし主催者側で準備します。使用シャトルのスピードについては、レフェリーが決定します。また、シャトルの交換については、主審が必要かどうかを決定します。

10　給水やタオルの使用については、必ず主審の許可を得てください。コートサイドには、カゴやドリンクケースを設置しません。給水のためのボトル（ふたつき）、タオル、着替え用ウェア、氷のう等は、すべてラケットバック等に入れ、コートサイドの主審側に置いてください。チェンジエンズの際はそのまま持って移動してください。クーラーボックスの持ち込み及びコーチ席への持ち込みは、認めません。なお、試合中の氷のうの使用については、インターバルのときのみとします。

11　汗を手で拭い、コート内外（競技区域）に投げ落とす行為については、不品行な振舞いに相当するものとみなします。

12　試合中のけがや病気については、主審の判断によりレフェリーが呼ばれ、レフェリーがその後の判断をします。

13　各コートに、コーチ席を２席置きます。マッチ（試合）にふさわしい服装（ジーンズ、ハーフパンツ・七分丈は認めない）で臨んでください。モバイル機器（タブレット・携帯電話等）を使用してのアドバイスやコーチングを禁止します。

14　競技規則で認められたインターバル時に、競技区域に入れるのは、同時に２人までとします。

【２】　会場使用上の注意

１　各会場の開館時間は、初日９時００分、二日目８時００分です。

２　プレーヤーの受付は競技当日、参加種目会場のロビーで受付を行ってください。他の会場での受付はできません。

３　ゴミは、すべて持ち帰ってください。